



平成29年 5月 12日

各位

会社名 株式会社 大真空
代表者名 代表取締役社長 長谷川 宗平
(コード番号 6962 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 前田 宏
TEL: (079)426-3211

連結業績予想との差異および減損損失(特別損失)の計上、ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

平成29年2月10日に公表した平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)と実績値との差異、および平成29年3月期第4四半期連結期間(平成29年1月1日～3月31日)における減損損失(特別損失)の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、平成29年5月12日開催の取締役会において、平成29年3月31日を基準日とする剰余金の配当につき、下記のとおりとすることを決議いたしましたのでお知らせします。

なお、剰余金の配当につきましては、平成29年6月29日開催予定の第54回定時株主総会に付議させていただく予定です。

記

1.業績予想との差異

1)平成29年3月期通期 連結業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	1,100	860	690	85.41
実績(B)	30,959	1,395	1,551	695	86.13
増減額(B-A)	△ 41	295	691	5	
増減率(%)	△ 0.1	26.8	80.3	0.7	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	32,182	693	697	139	17.31 ※

※当社は平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。このため前期実績の1株当たり当期純利益につきましては前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、算定しております。

2)差異の理由

売上高につきましては、概ね計画通りに推移しましたが、海外工場の原価改善が想定以上に進んだことなどにより営業利益が前回予想を上回りました。また、新規設備の導入に伴う鳥取県と鳥取市からの補助金収入(313百万円)を営業外収益に、為替差損(255百万円)を営業外費用に計上した結果、経常利益も前回予想を上回りました。

2.減損損失の計上

1)減損損失の内容

平成29年3月期第4四半期連結期間におきまして、当社の保有する固定資産のうち遊休資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失211百万円を計上しました。

2)業績に与える影響

上記の減損損失の計上による業績への影響につきましては、「1.業績予想との差異」および本日公表の「平成29年3月期 決算短信[日本基準](連結)」をご参照ください。

3.剰余金の配当

1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年11月11日)	前期実績 (平成28年3月期)
基準日	平成29年3月31日	同左	平成28年3月31日
1株当たり配当金	25円00銭	10円00銭	2円00銭
配当金の総額	202百万円	-	80百万円
効力発生日	平成29年6月30日	-	平成28年6月30日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

2)理由

当社は会社競争力の維持のため、企業体質の強化等を総合勘案しながら、株主のみなさまに対して利益還元として安定的な配当を継続することが重要な基本方針と考えております。また、将来の事業拡大のための設備投資、研究開発などの資金需要に備えるためにも内部留保を充実させ、経営体質の一層の強化を図ってまいり所存であります。

平成28年11月11日公表時に10円としておりました平成29年3月期期末配当につきまして、本日別途公表の平成29年3月期の業績などを勘案し25円とさせていただきます。

(参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(平成28年11月11日)		10円00銭 ※	- ※
当期実績	1円00銭	25円00銭 ※	- ※
前期実績(平成28年3月期)	0円00銭	2円00銭	2円00銭

※当社は平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。このため1株当たり期末配当金につきましては当該株式併合を考慮した金額を表示し、合計につきましては単純合算ができないため「-」と表示しております。

以上